

ひろしま出会いサポートセンター 登録会員の意識調査結果

平成29年2月

広島県 健康福祉局

子育て・少子化対策課

1 調査の目的

広島県主催のイベントに対するニーズを把握し、より効果的なイベント実施の参考資料とするため、ひろしま出会いサポートセンターの登録会員に対して、イベントの流れや相手に求める条件などに関する調査を実施した。

2 調査の方法

- ☛ インターネットによる調査

- ☛ 調査の概要

- <調査対象>

- ひろしま出会いサポートセンター登録会員のうちメルマガ希望者

- <調査方法>

- メルマガにアンケートフォームのURLを添付し、回答を回収

- <回収数>

- メルマガ送信：2,509人

- 回答：男性200人，女性169人

- <調査期間>

- 平成29年1月31日（火）～2月10日（金）

3 調査項目

- ☛ 回答者属性（性別，年齢，居住市町名）

- ☛ イベント関連（参加の有無，年齢制限，参加者の規模，日程，進行，マッチング方法，カップル発表，カップルフォロー，プロフィールカード，魅力向上セミナー）

- ☛ 会員向けサービス（利用の有無，利用方法）

目 次

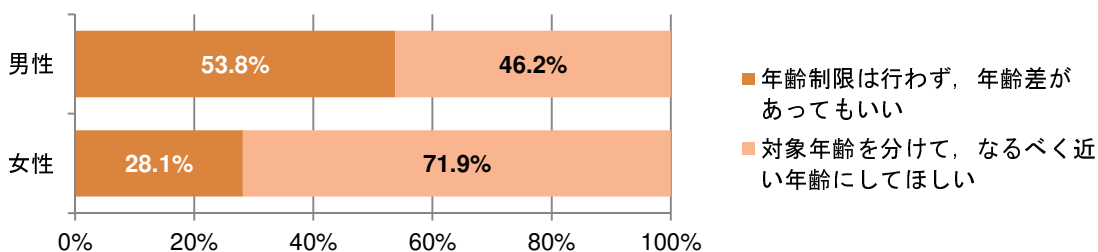
1	イベントの年齢制限に対する意識	1
2	イベント規模に対する意識	2
3	参加しやすいイベント日程に対する意識	4
4	イベント内の交流に対する意識	6
5	イベント内のマッチング方法に対する意識	7
6	イベント内のカップル発表に対する意識	9
7	こいのわボランティアによるカップルフォローに対する意識	11
8	プロフィールカードで特に重視する項目	12
9	セミナーへの参加の意識	15
10	ひろサポサービス協力店のサービス利用の意識	17
11	ひろサポサービス協力店のサービス利用方法の意識	19

1 イベントの年齢制限に対する意識

(1) 男女別の意識

男性は年齢制限を行わない方の希望が多いが、女性は7割以上が年齢制限を設けてなるべく年齢の近いイベントを希望している。

<表1：男女別のイベントでの年齢制限の考え方>

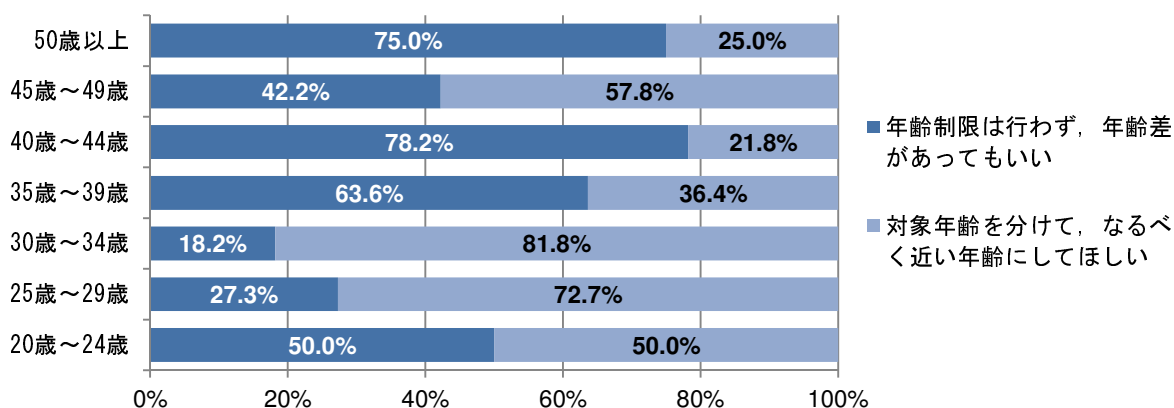


(2) 年齢別の意識

① 男性の年齢別の意識

男性のイベントでの年齢制限の考え方を年齢別に見ると、34歳までの男性は年齢制限を設けて、なるべく近い年齢のイベントを求めているのに対して、35歳以上の男性は年齢制限を行わないイベントを求めている。

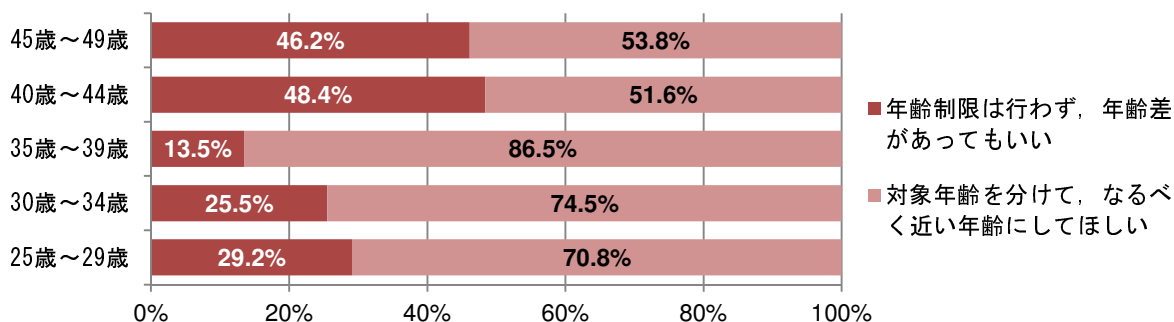
<表2：男性の年齢別のイベントでの年齢制限の考え方>



② 女性の年齢別の意識

女性のイベントでの年齢制限の考え方を年齢別に見ると、39歳までの女性は年齢制限を設けて、なるべく近い年齢のイベントを求めているのに対して、40歳以上の女性ではその割合が減少する。

<表3：女性の年齢別のイベントでの年齢制限の考え方>

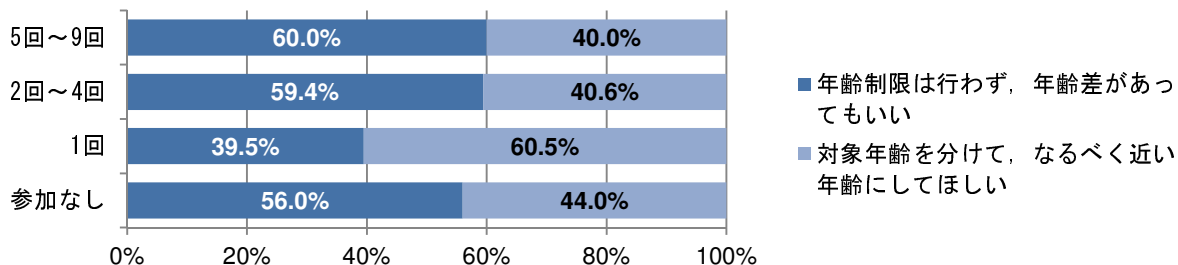


(3) イベント参加回数別の意識

① 男性のイベント参加回数別の意識

男性のイベントでの年齢制限の考え方をイベント参加回数別に見ると、1回参加の方は年齢制限のイベントを求めているのに対して、複数回参加の方は年齢制限のないイベントを求めている。

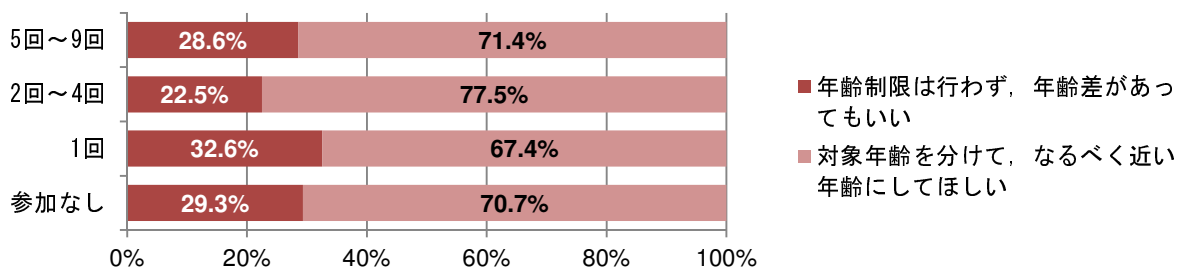
<表4：男性の年齢別のイベントでの年齢制限の考え方>



② 女性のイベント参加回数別の意識

女性のイベントでの年齢制限の考え方をイベント参加回数別に見ると、まだ参加したことのない方も含めて年齢制限のあるイベントを求めている。

<表5：女性の年齢別のイベントでの年齢制限の考え方>

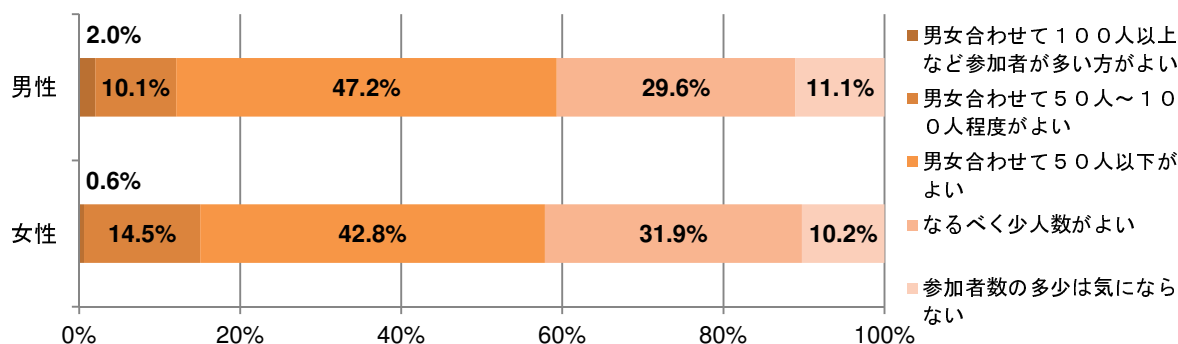


2 イベント規模に対する意識

(1) 男女別の意識

希望するイベントの規模は男女とも「男女合わせて50人以下がよい」であり、続いて「なるべく少人数がよい」である。こいのわカフェで実施している規模がちょうどよい。

<表6：男女別のイベント規模の考え方>

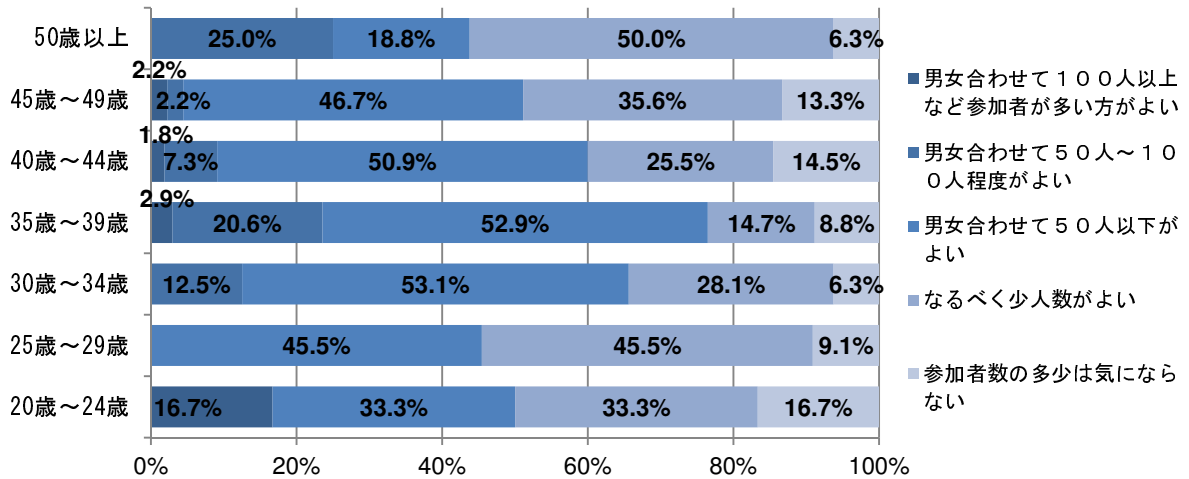


(2) 年齢別の意識

① 男性の年齢別の意識

男性のイベント規模の考え方を年齢別に見ると、全年代で「男女合わせて50人以下がよい」のイベントを求めており、続いて「なるべく少人数がよい」と考えていることがわかる。

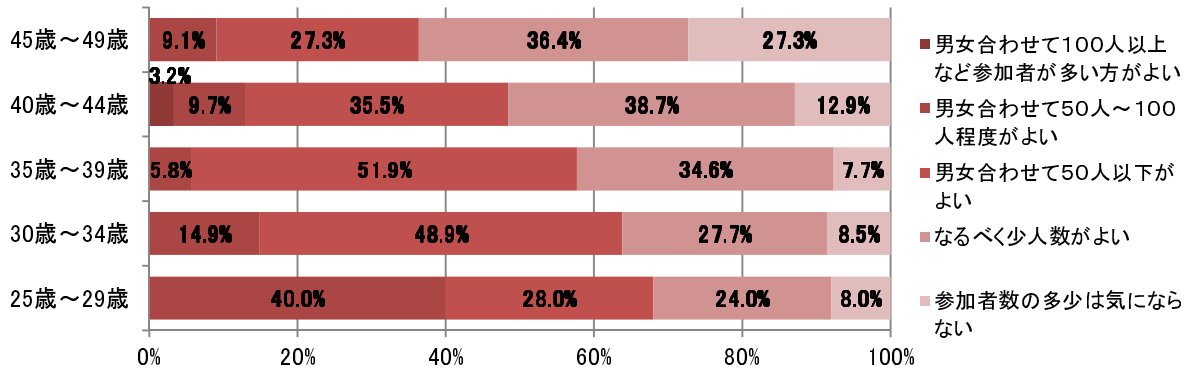
<表7：男性の年齢別のイベントでの年齢制限の考え方>



② 女性の年齢別の意識

女性のイベント規模の考え方を年齢別に見ると、20代では50人以上の大規模イベントを求めているのに対して、30歳以降は50人以下の小規模イベントを求めていることがわかる。

<表8：女性の年齢別のイベントでの年齢制限の考え方>

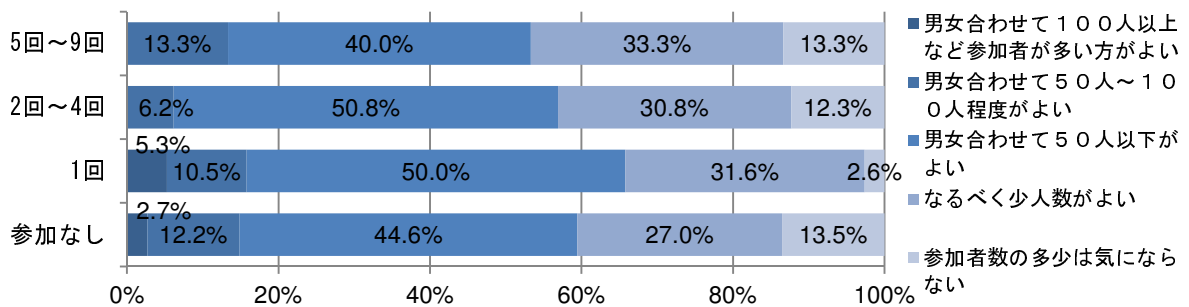


(3) イベント参加回数別の意識

① 男性のイベント参加回数別の意識

男性のイベント規模の考え方をイベント参加回数別に見ると、参加回数の多少に関わらず50人以下の小規模イベントを求めている。

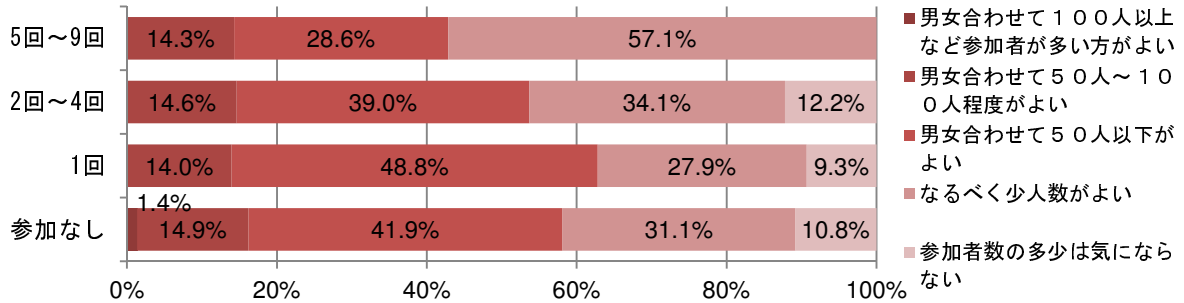
<表9：男性のイベント参加回数別のイベント規模の考え方>



② 女性のイベント参加回数別の意識

女性のイベント規模の考え方をイベント参加回数別に見ると、参加回数が多くなるほど、より少人数の規模のイベントを求めている。

<表 10：女性のイベント参加回数別のイベント規模の考え方>

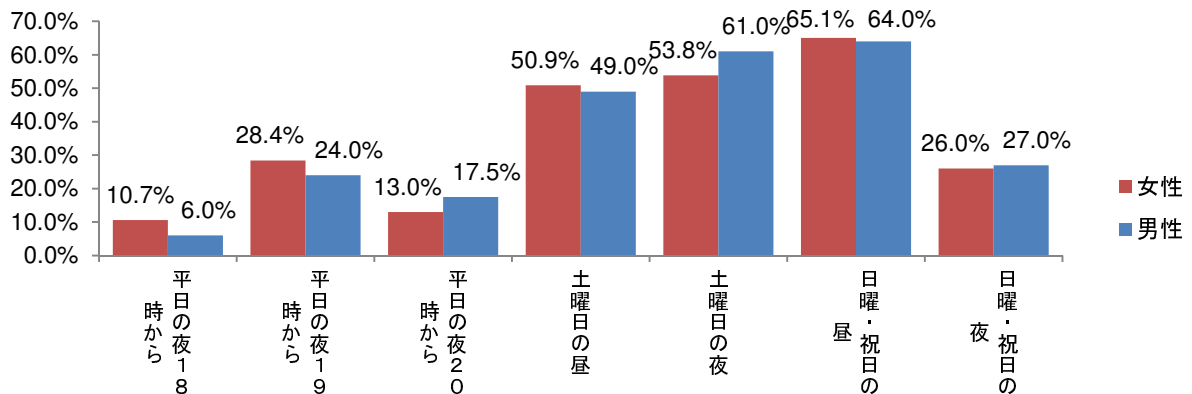


3 参加しやすいイベント日程に対する意識

(1) 男女別の意識

希望するイベントの日程は男女とも「日曜・祝日の昼」であり、続いて「土曜日の夜」「土曜日の昼」である。なお、「日曜・祝日の夜」の希望は少なく、平日であれば夜19時からの希望が多い。

<表 11：男女別の参加しやすいイベント日程の考え方>

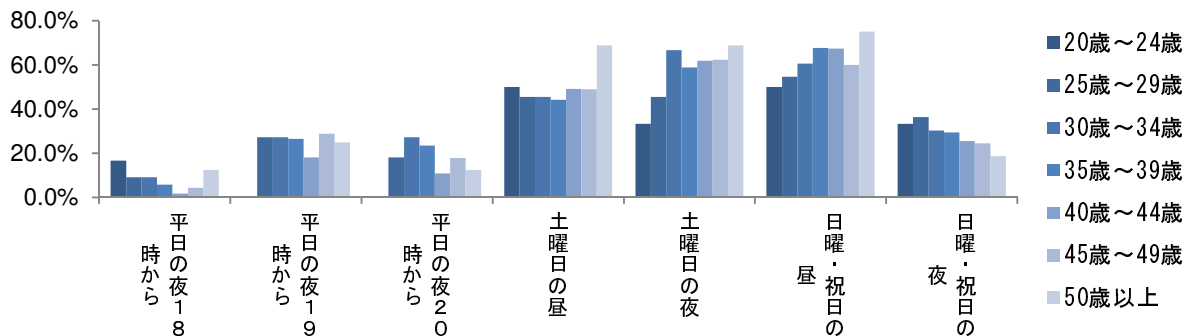


(2) 年齢別の意識

① 男性の年齢別の意識

男性の参加しやすいイベント日程の考え方を年齢別に見ると、全年代で「日曜・祝日の昼」のイベントを求めており、続いて「土曜日の夜」「土曜日の」と考えていることがわかる。

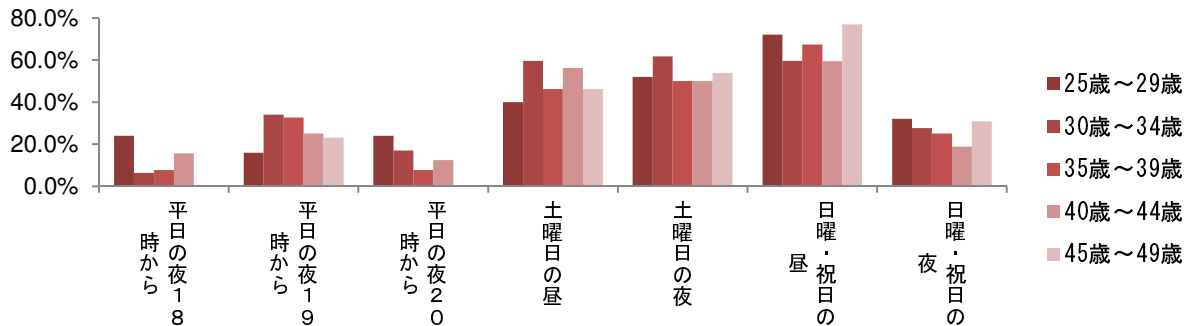
<表 12：男性の年齢別の参加しやすいイベント日程の考え方>



② 女性の年齢別の意識

女性の参加しやすいイベント日程の考え方を年齢別に見ると、男性と同様に全年代で「日曜・祝日の昼」のイベントを求めており、続いて「土曜日の夜」「土曜日の」と考えていることがわかる。

<表 13：女性の年齢別の参加しやすいイベント日程の考え方>

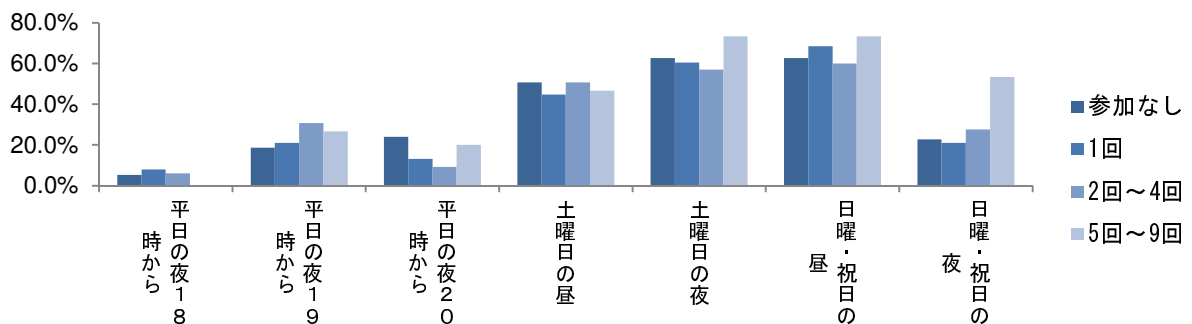


(3) イベント参加回数別の意識

① 男性のイベント参加回数別の意識

男性の参加しやすいイベント日程の考え方をイベント参加回数別に見ると、「日曜・祝日の夜」のイベントについては複数回参加者が参加しやすいイベントであることがわかる。

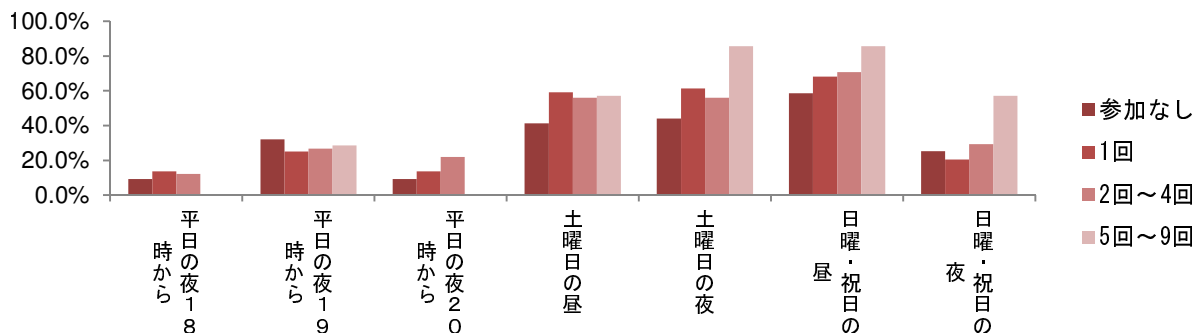
<表 14：男性のイベント参加回数別の参加しやすいイベント日程の考え方>



② 女性のイベント参加回数別の意識

女性の参加しやすいイベント日程の考え方をイベント参加回数別に見ると、男性と同様に「日曜・祝日の夜」のイベントについては複数回参加者が参加しやすいイベントであることがわかる。

<表 15：女性のイベント参加回数別の参加しやすいイベント日程の考え方>

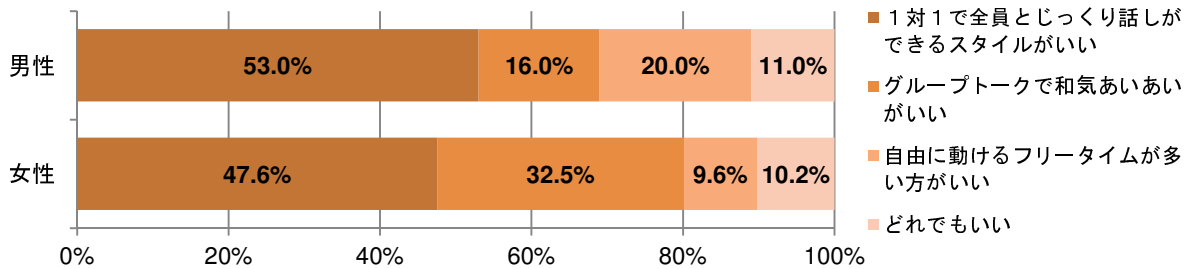


4 イベント内の交流に対する意識

(1) 男女別の意識

希望するイベント内での交流は男女とも「1対1で全員とじっくり話しができるスタイルがいい」であり、続いて男性は「自由に動けるフリータイムが多い方がいい」で、女性は「グループトークで和気あいあいがいい」であった。男性よりも女性の方が自由に動けるフリータイムよりも決められた相手とトークするスタイルを望んでいる。

＜表 16：男女別の希望するイベント内の交流の考え方＞

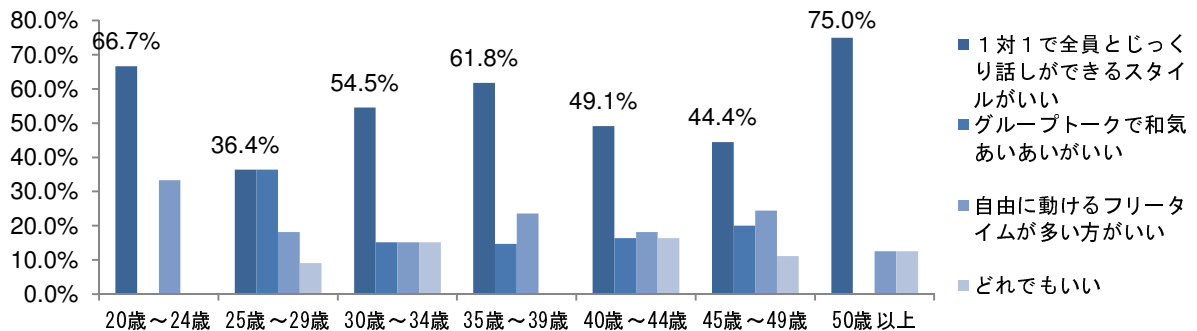


(2) 年齢別の意識

① 男性の年齢別の意識

男性の希望するイベント内での交流を年齢別に見ると、全年代で多いのが「1対1で全員とじっくり話しができるスタイルがいい」である。1対1以外は大きな傾向は見られない。

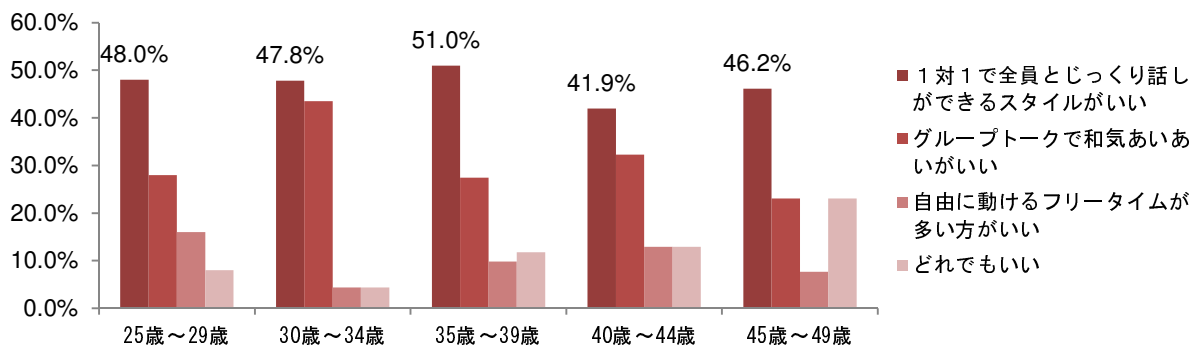
＜表 17：男性の年齢別の希望するイベント内の交流の考え方＞



② 女性の年齢別の意識

女性の希望するイベント内での交流を年齢別に見ると、全年代で多いのが「1対1で全員とじっくり話しができるスタイルがいい」であり、続いて「グループトークで和気あいあいがいい」も希望している。なお、「自由に動けるフリータイムが多い方がいい」はどの年代でも低く、女性がイベント内のフリータイムを敬遠していることがわかる。

＜表 18：女性の年齢別の希望するイベント内の交流の考え方＞

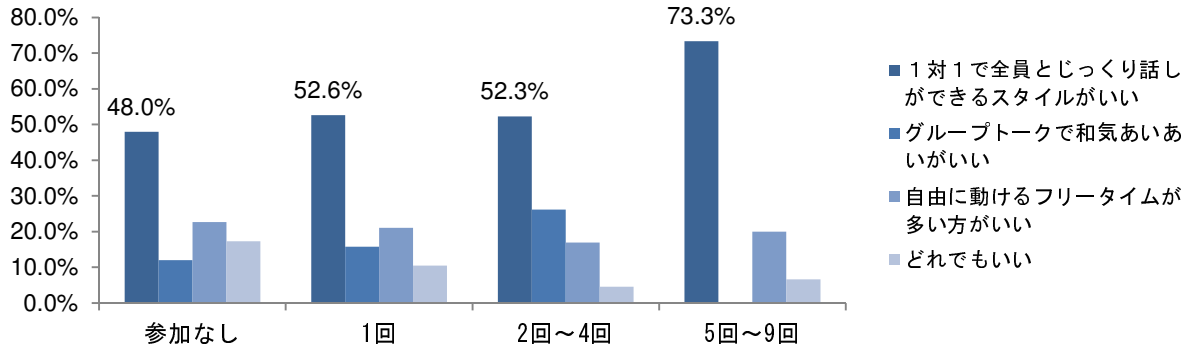


(3) イベント参加回数別の意識

① 男性のイベント参加回数別の意識

男性の希望するイベント内での交流をイベント参加回数別に見ると、参加回数が多いほど「1対1で全員とじっくり話しができるスタイルがいい」である。

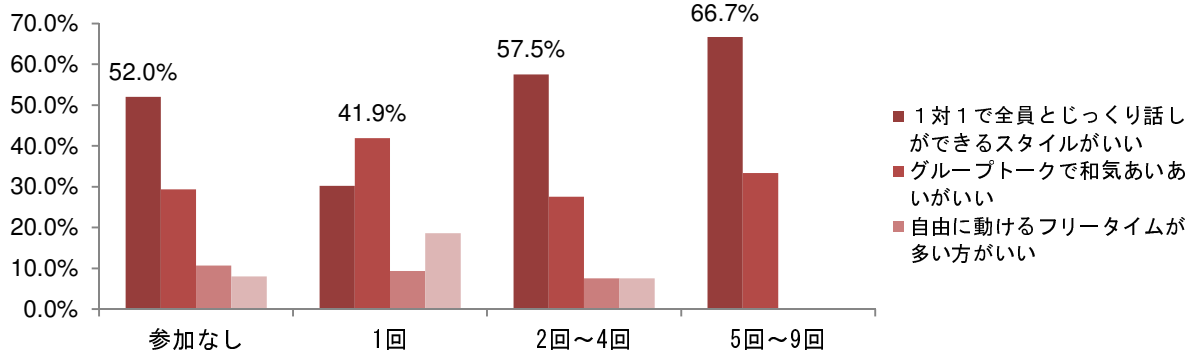
<表 19：男性のイベント参加回数別の希望するイベント内の交流の考え方>



② 女性のイベント参加回数別の意識

女性の希望するイベント内での交流をイベント参加回数別に見ると、参加回数が多いほど「1対1で全員とじっくり話しができるスタイルがいい」である。また、男性と異なり「グループトークで和気あいあいがいい」も各年代で高い。

<表 20：女性のイベント参加回数別の希望するイベント内の交流の考え方>

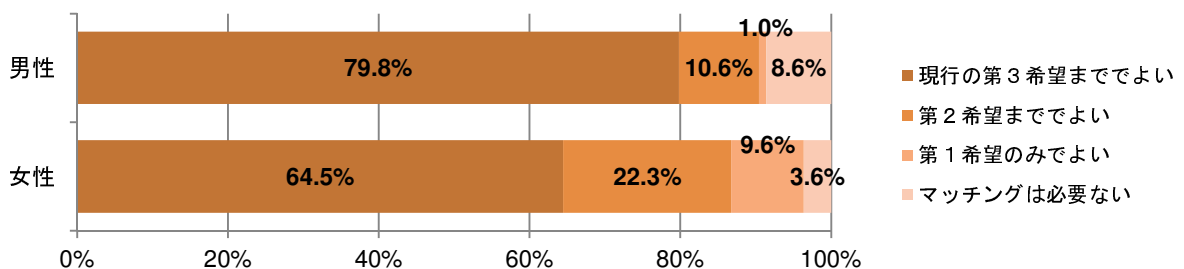


5 イベント内のマッチング方法に対する意識

(1) 男女別の意識

希望するイベント内のマッチング方法は、男女とも「現行の第3希望まででよい」であり、続いて「第2希望まででよい」となり、現在のマッチング方法が支持されていることがわかった。

<表 21：男女別の希望するイベント内のマッチング方法の考え方>

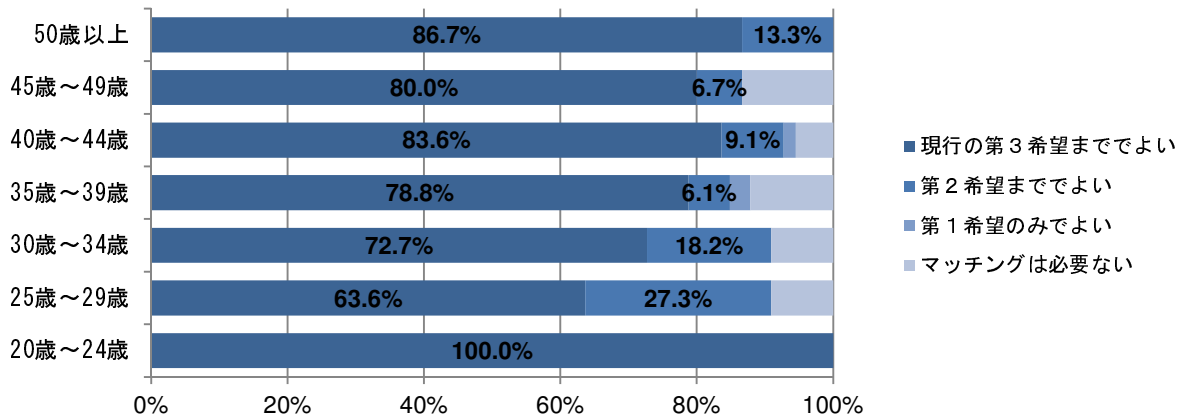


(2) 年齢別の意識

① 男性の年齢別の意識

男性の希望するイベント内のマッチング方法を年齢別に見ると、全年代で「現行の第3希望まででよい」である。

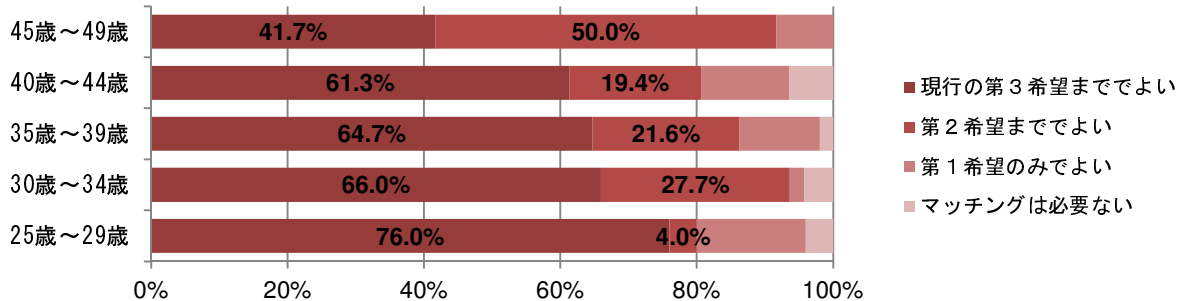
<表 22：男性の年齢別の希望するイベント内の交流の考え方>



② 女性の年齢別の意識

女性の希望するイベント内のマッチング方法を年齢別に見ると、44歳までの年代で「現行の第3希望まででよい」であり、45歳以上が「第2希望まででよい」であった。男性に比べると「第2希望まででよい」とする割合が多い。

<表 23：女性の年齢別の希望するイベント内の交流の考え方>

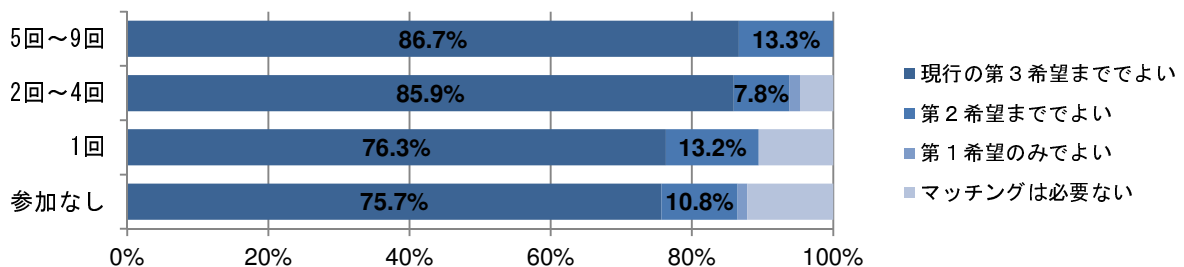


(3) イベント参加回数別の意識

① 男性のイベント参加回数別の意識

男性の希望するイベント内のマッチング方法をイベント参加回数別に見ると、参加回数が多いほど「現行の第3希望まででよい」である。

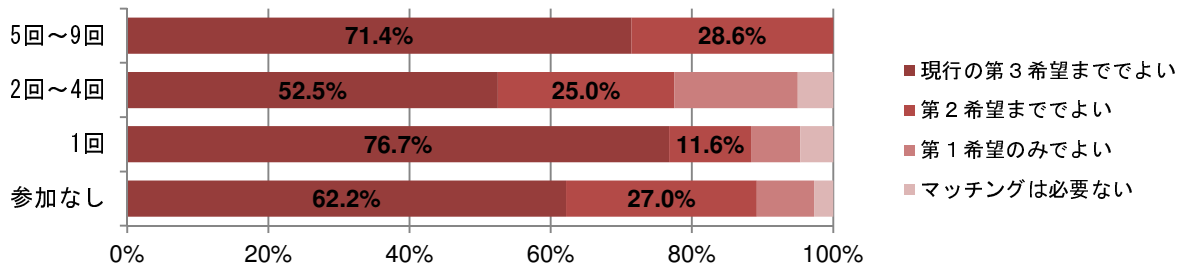
<表 24：男性のイベント参加回数別の希望するイベント内の交流の考え方>



② 女性のイベント参加回数別の意識

女性の希望するイベント内のマッチング方法をイベント参加回数別に見ると、参加回数の多少での傾向は見られないが、「現行の第3希望まででよい」が一番多い。

<表 25：女性のイベント参加回数別の希望するイベント内の交流の考え方>

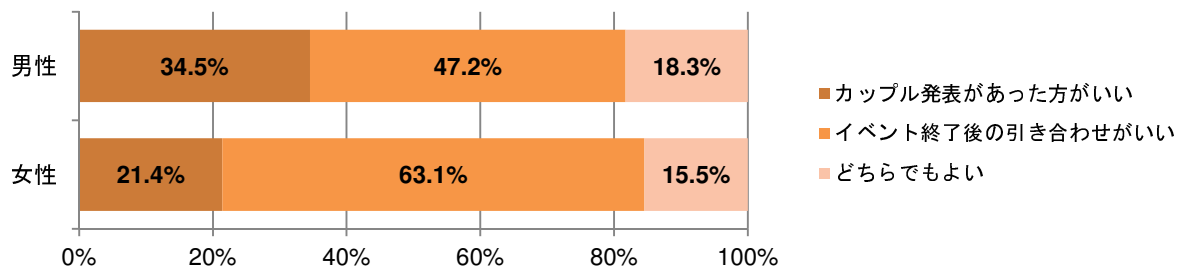


6 イベント内のカップル発表に対する意識

(1) 男女別の意識

イベント内のカップル発表は、男女とも「現行の第3希望まででよい」であり、続いて「第2希望まででよい」となり、現在のマッチング方法が支持されていることがわかった。

<表 26：男女別のイベント内のカップル発表の考え方>

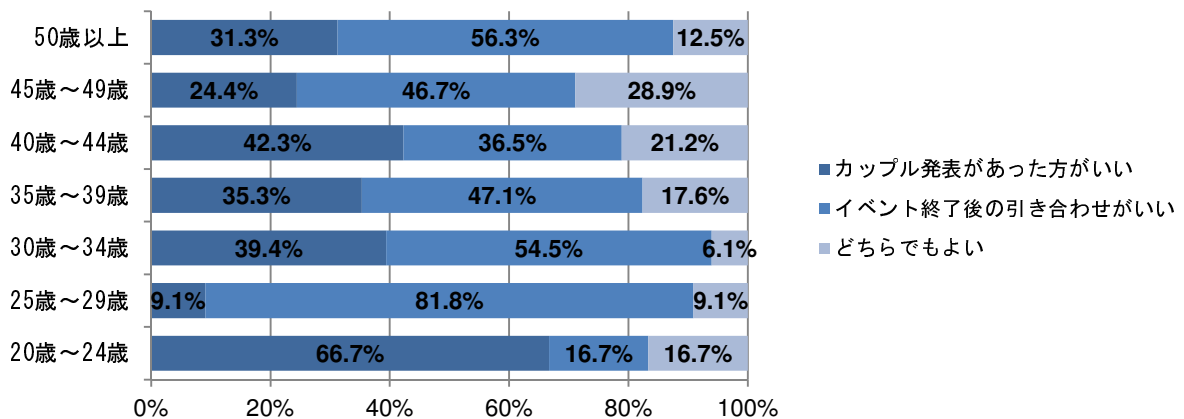


(2) 年齢別の意識

① 男性の年齢別の意識

男性のイベント内のカップル発表に対する考え方を年齢別に見ると、年代によってばらつきがあるが「イベント終了後の引き合わせ」を求めていることがわかる。

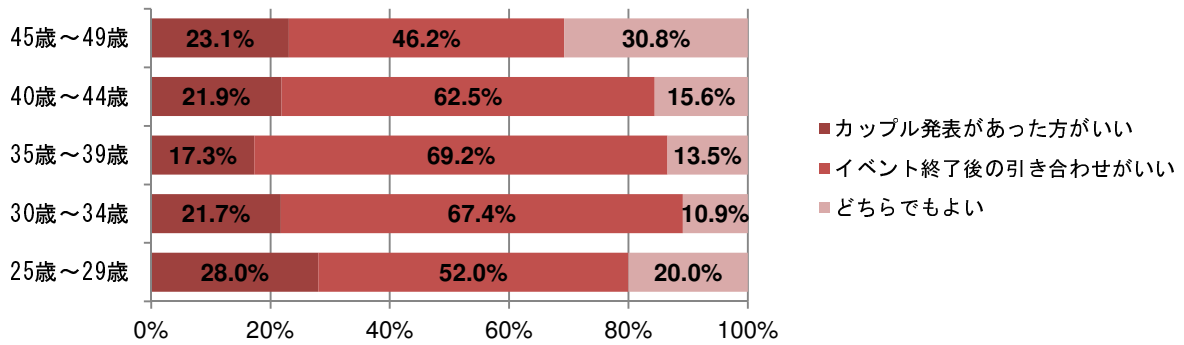
<表 27：男性の年齢別の希望するイベント内のカップル発表の考え方>



② 女性の年齢別の意識

女性のイベント内のカップル発表に対する考え方を年齢別に見ると、全年代で「イベント終了後の引き合わせ」を求めていることがわかる。特に30代の女性はその傾向が強い。

<表 28：女性の年齢別の希望するイベント内のカップル発表の考え方>

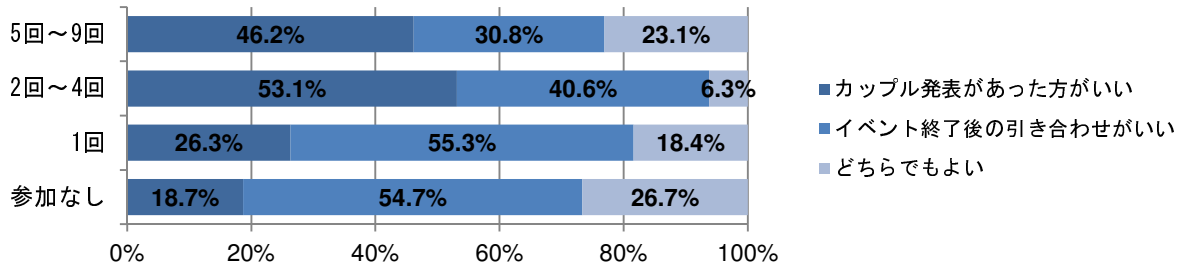


(3) イベント参加回数別の意識

① 男性のイベント参加回数別の意識

男性のイベント内のカップル発表に対する考え方をイベント参加回数別に見ると、参加回数が多いほど「イベント内でのカップル発表」を求めている。

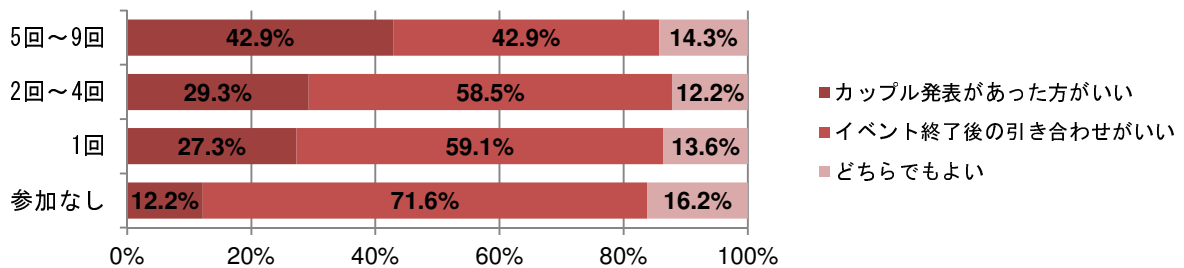
<表 29：男性のイベント参加回数別の希望するイベント内のカップル発表の考え方>



② 女性のイベント参加回数別の意識

女性のイベント内のカップル発表に対する考え方をイベント参加回数別に見ると、参加回数が多いほど「イベント内でのカップル発表」を求めている。

<表 30：女性のイベント参加回数別の希望するイベント内のカップル発表の考え方>

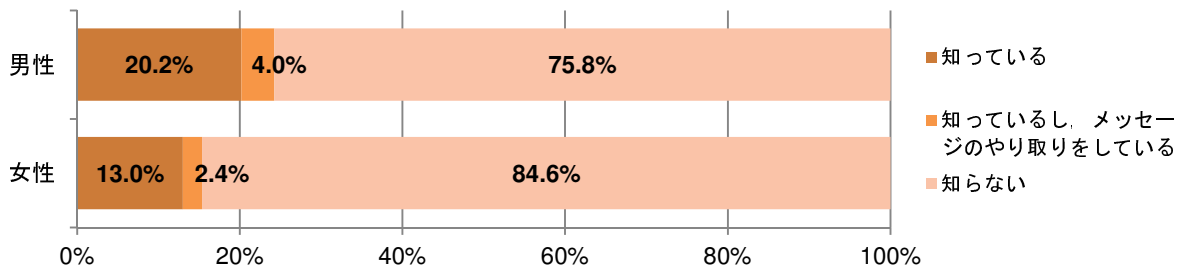


7 こいのわボランティアによるカップルフォローに対する意識

(1) 男女別の意識

イベント終了後のこいのわボランティアによるカップルフォローは、男女ともほとんど知られていない状況である。

<表 31：男女別のこいのわボランティアによるカップルフォローの認知度>

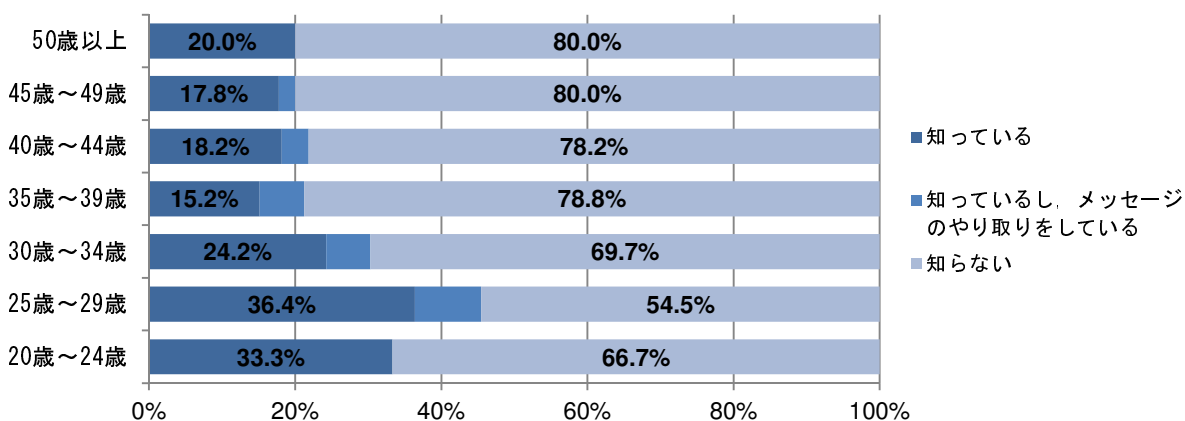


(2) 年齢別の意識

① 男性の年齢別の意識

男性のイベント終了後のこいのわボランティアによるカップルフォローの認知度を年齢別に見ると、年齢が高くなるほど認知度が低くなることがわかる。若いほどイベント内でのマッチングが成功していると思われる。

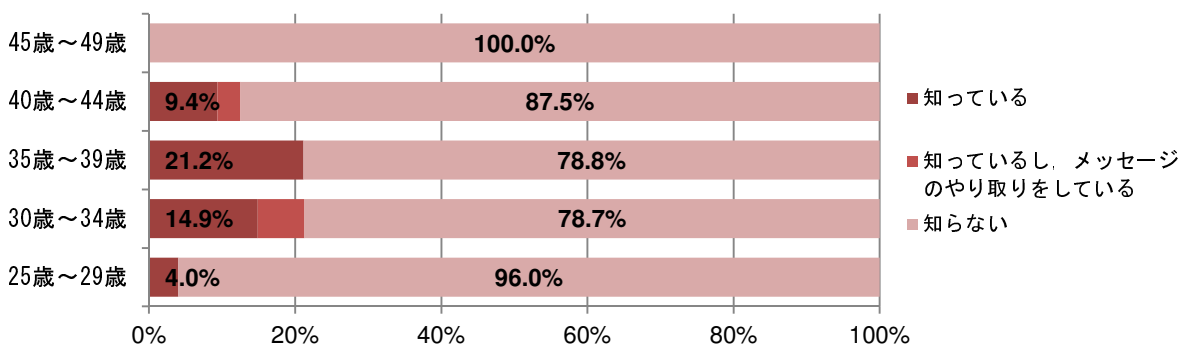
<表 32：男性の年齢別のこいのわボランティアによるカップルフォローの認知度>



② 女性の年齢別の意識

女性のイベント終了後のこいのわボランティアによるカップルフォローの認知度を年齢別に見ると、男性と同様に年齢が高くなるほど認知度が低くなるがわかる。また、30代の認知度が高く、イベント内でのマッチングが成功している年代だと思われる。

<表 33：女性の年齢別のこいのわボランティアによるカップルフォローの認知度>

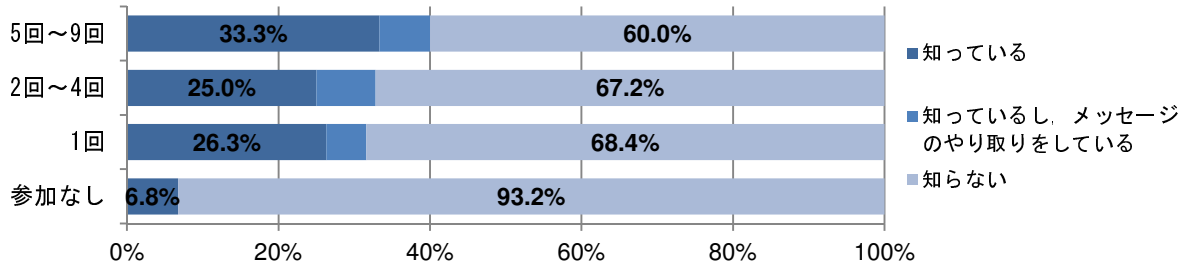


(3) イベント参加回数別の意識

① 男性のイベント参加回数別の意識

男性のイベント終了後のこいのわボランティアによるカップルフォローの認知度をイベント参加回数別に見ると、参加回数が多いほど認知度が高くなるのがわかる。

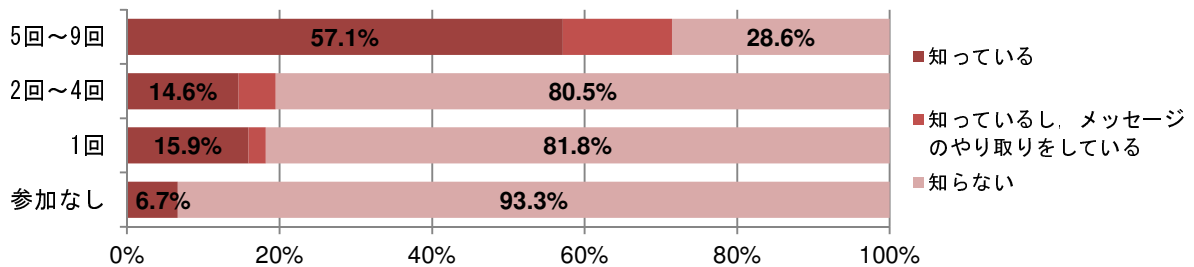
<表 34：男性のイベント参加回数別の希望するイベント内のカップル発表の考え方>



② 女性のイベント参加回数別の意識

女性のイベント終了後のこいのわボランティアによるカップルフォローの認知度をイベント参加回数別に見ると、参加回数が多いほど認知度が高くなるのがわかる。特に5回以上参加している人の認知度が高い。

<表 35：女性のイベント参加回数別の希望するイベント内のカップル発表の考え方>

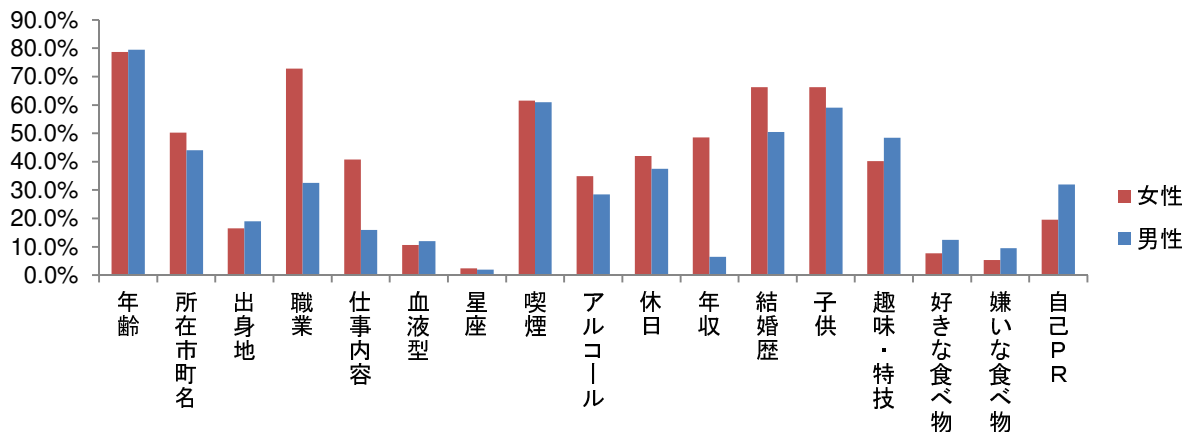


8 プロフィールカードで特に重視する項目

(1) 男女別の意識

プロフィールカードで特に重視する項目は、男女とも「年齢」と「喫煙」が高く、「結婚歴」と「子供の有無」がある。また、女性は男性の「職業」や「年収」を重視しているのに対して、男性は女性の「趣味・特技」を重視している。

<表 36：男女別のプロフィールカードで特に重視する項目>

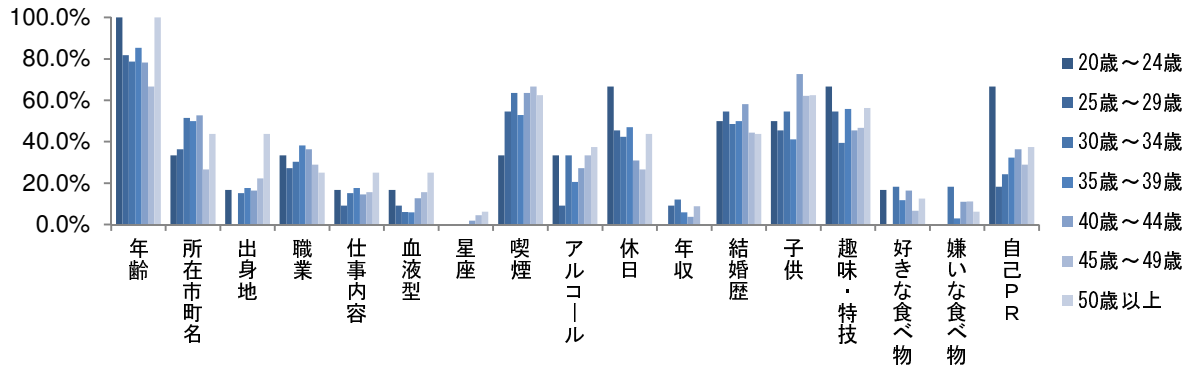


(2) 年齢別の意識

① 男性の年齢別の意識

男性のプロフィールカードで特に重視する項目を年齢別に見ると、年齢が高くなるほど相手の年齢は重視しなくなる傾向があるのに対して、喫煙や子供の有無を重視するようになる。

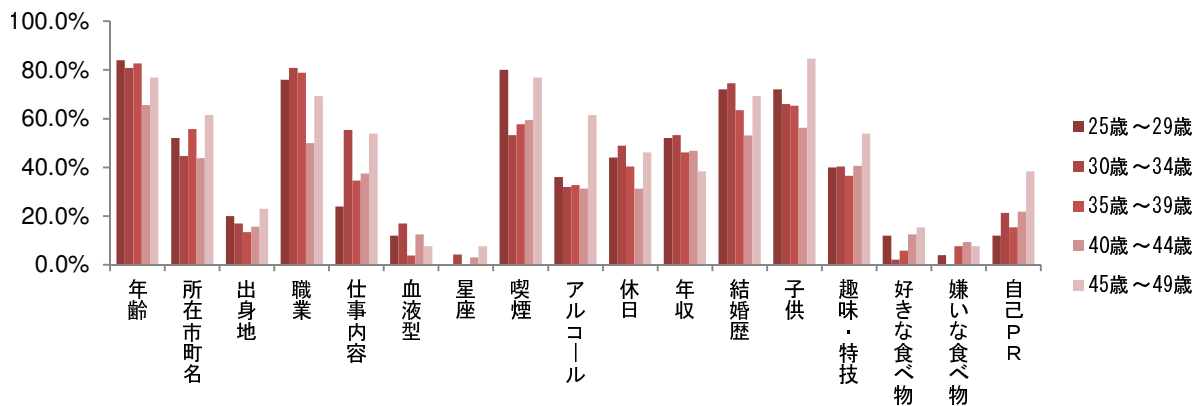
<表 37：男性の年齢別のプロフィールカードで特に重視する項目>



② 女性の年齢別の意識

女性のプロフィールカードで特に重視する項目を年齢別に見ると、年齢が若いほど様々なことを重視しているが、徐々にとなくなっていき、45歳を超えてからまた気になるようになる傾向がある。

<表 38：女性の年齢別のプロフィールカードで特に重視する項目>

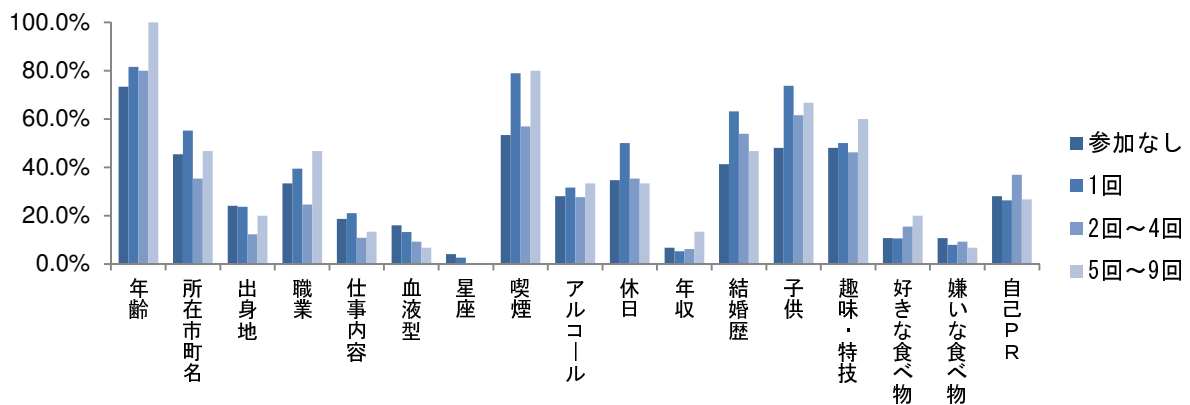


(3) イベント参加回数別の意識

① 男性のイベント参加回数別の意識

男性のプロフィールカードで特に重視する項目をイベント参加回数別に見ると、参加回数が多いほど様々なことを重視していることがわかる。

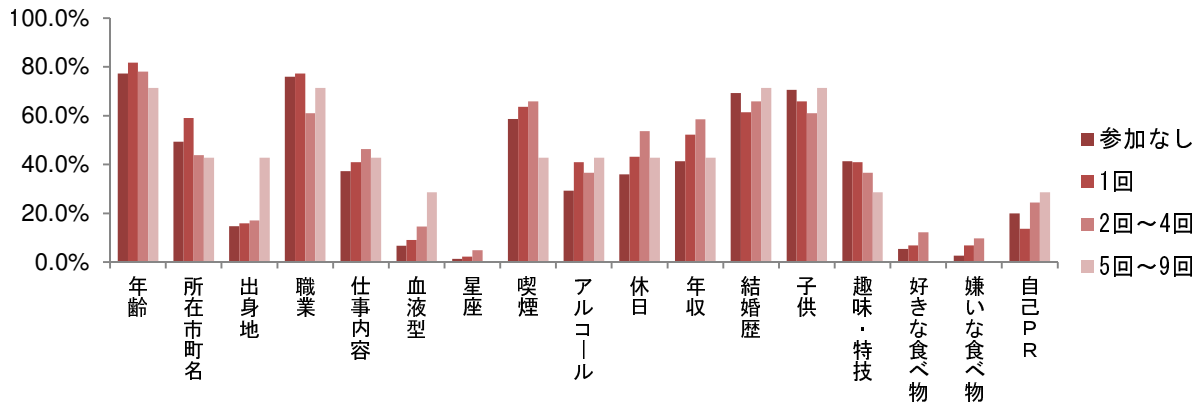
<表 39：男性のイベント参加回数別のプロフィールカードで特に重視する項目>



② 女性のイベント参加回数別の意識

女性のプロフィールカードで特に重視する項目をイベント参加回数別に見ると、参加回数による傾向は見られない。

＜表 40：女性のイベント参加回数別のプロフィールカードで特に重視する項目＞



(4) 新たにプロフィールカードに入れてほしい項目

① 男性の希望

- ☐ 普段スポーツをするかどうか
- ☐ 子供を希望するか、何人欲しいか
- ☐ デートで行きたい場所
- ☐ マイブーム
- ☐ 家事や育児についての考え方
- ☐ 好きな男性のタイプ
- ☐ 宗教
- ☐ 結婚までの時期
- ☐ 働き方（専業で家事・共働きしても良い、共働きしたい）
- ☐ 大好きなJ-POPSのアーティスト及び曲名です。
- ☐ 相手の年齢上限・希望年齢
- ☐ 家族構成
- ☐ 好きな動物、スポーツ
- ☐ 生年月日
- ☐ 理想の結婚像

② 女性の希望

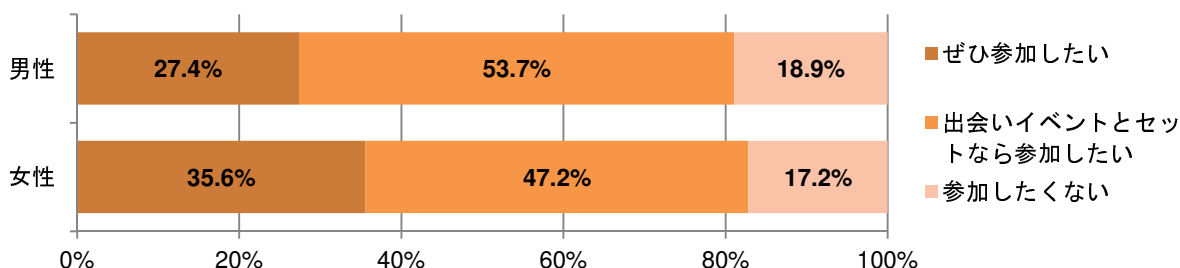
- ☐ 宗教
- ☐ 家を個人で持っているか
- ☐ 車を持っているか
- ☐ 休日の過ごし方
- ☐ 一緒に行きたい行きたい所(したい事)
- ☐ どんな人が好みか
- ☐ 家族構成
- ☐ 参加した動機
- ☐ 得意だった科目
- ☐ 似ていると言われる動物
- ☐ 友人から言われる性格
- ☐ 人生観や結婚観
- ☐ 最終学歴
- ☐ 苦手・不得意なこと
- ☐ 好きな動物
- ☐ 実家暮らしか一人暮らしか
- ☐ カップルになった際、初デートはどこに行きたい
- ☐ 結婚後、共働き希望か専業主婦になってほしいか
- ☐ 仕事の勤続年数

9 セミナーへの参加の意識

(1) 男女別の意識

魅力向上セミナーやコミュニケーション力向上セミナーなどのセミナーへの参加に係る考え方は、男女とも「出会いイベントとセットなら参加したい」が高く、続いて「ぜひ参加したい」となる。男女とも、8割以上の方がセミナーに対する意識が高い状況である。

<表 41：男女別のセミナーへの参加の意識>

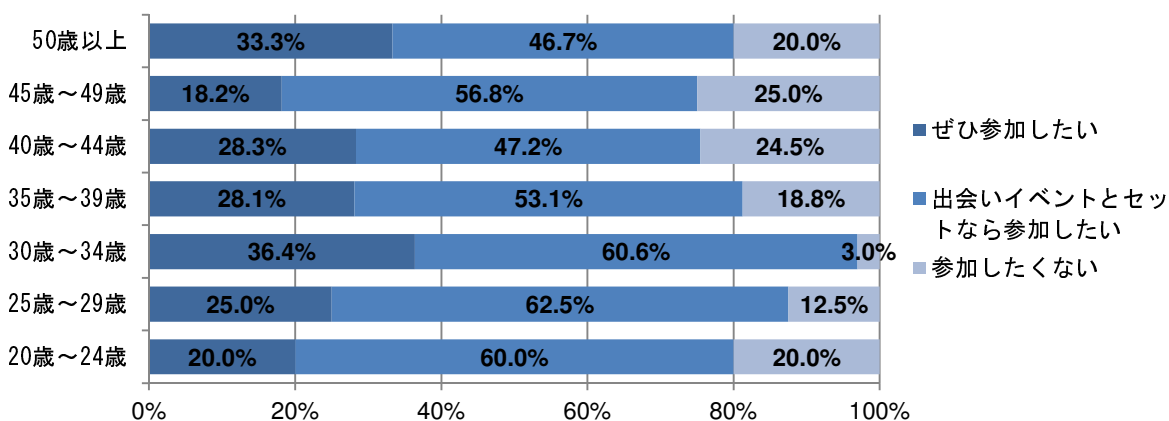


(2) 年齢別の意識

① 男性の年齢別の意識

男性のセミナーへの参加に係る考え方を年齢別に見ると、年齢が高い方がセミナーに興味がないように見られるが、年齢が若い人は出会いイベントとセットなら参加したい割合が高い。

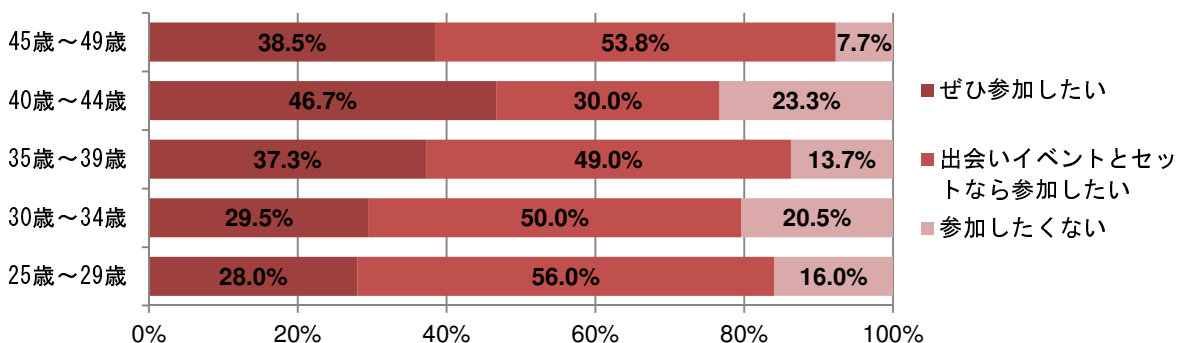
<表 42：男性の年齢別のセミナーへの参加の意識>



② 女性の年齢別の意識

女性のセミナーへの参加に係る考え方を年齢別に見ると、年齢が高い方がセミナーに興味があり、年齢が若い方は出会いイベントとセットなら参加したい割合が高い。

<表 43：女性の年齢別のセミナーへの参加の意識>

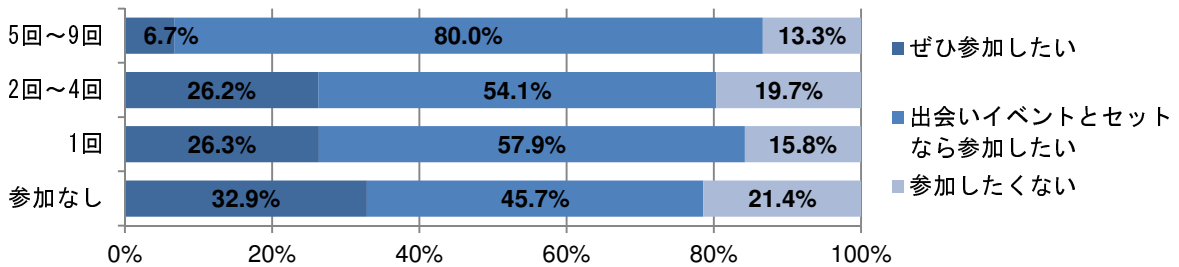


(3) イベント参加回数別の意識

① 男性のイベント参加回数別の意識

男性のセミナーへの参加に係る考え方をイベント参加回数別に見ると、参加回数が増えると「ぜひ参加したい」が減少し、「出会いイベントとセットなら参加したい」が増加する。

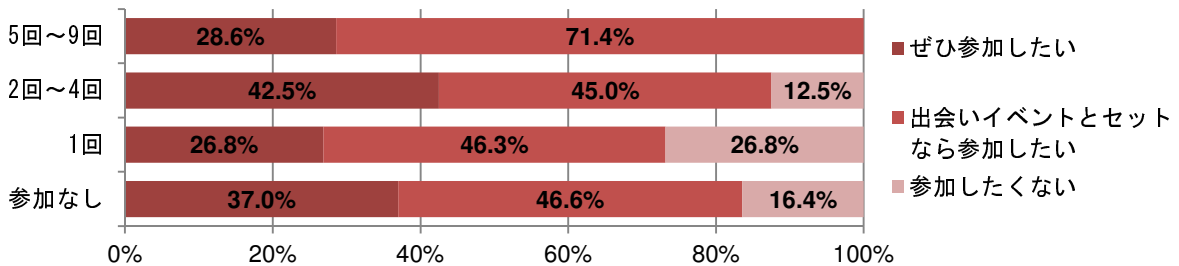
<表 44：男性のイベント参加回数別のセミナーへの参加に係る考え方>



② 女性のイベント参加回数別の意識

女性のセミナーへの参加に係る考え方をイベント参加回数別に見ると、参加回数が増えると参加したい人の割合が増加する。

<表 45：女性のイベント参加回数別のセミナーへの参加に係る考え方>



(4) 聞いてみたいセミナー

① 男性の希望

- ☐ 結婚に必要な資金や準備
- ☐ 何故女性は突如音信不通になるのか講座
- ☐ トークの仕方
- ☐ ファッション好感のもてるスタイルセミナー
- ☐ 気軽に異性の誰とでも話せる方法
- ☐ 第一印象アップ
- ☐ 婚活マナー講座
- ☐ 元カーブ選手による女性の口説き方
- ☐ 連絡先交換後の交流方法
- ☐ デートプランの立て方
- ☐ コミュニケーションセミナー
- ☐ 成婚者のお話

② 女性の希望

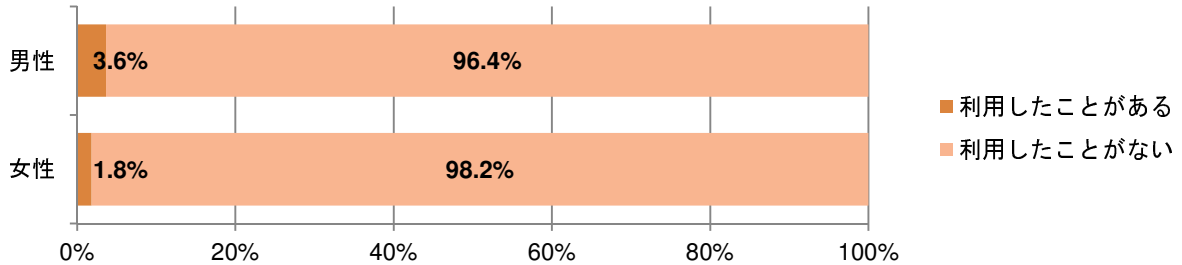
- ☐ 引き寄せの法則のセミナー
- ☐ せりざわまりさんのセミナー
- ☐ ライフプランセミナー
- ☐ 新聞記者の聞くセミナー
- ☐ メイク術やコミュニケーションの取り方
- ☐ パーソナルカラー講座
- ☐ ワンポイントメイクアップ講座
- ☐ 婚活や結婚生活で役立つ異性とのコミュニケーションの取り方
- ☐ 骨格診断
- ☐ トータルコーディネイト
- ☐ 自分にあうメイクやヘアスタイル
- ☐ モテ仕草のセミナー
- ☐ 相手に好印象を与える話し方

10 ひろサポサービス協力店のサービス利用の意識

(1) 男女別の意識

ひろサポサービス協力店のサービス利用については、男女とも「利用したことがない」が圧倒的に高く、まったく利用されていない状況であることがわかる。

<表 46：男女別のひろサポサービス協力店のサービス利用>

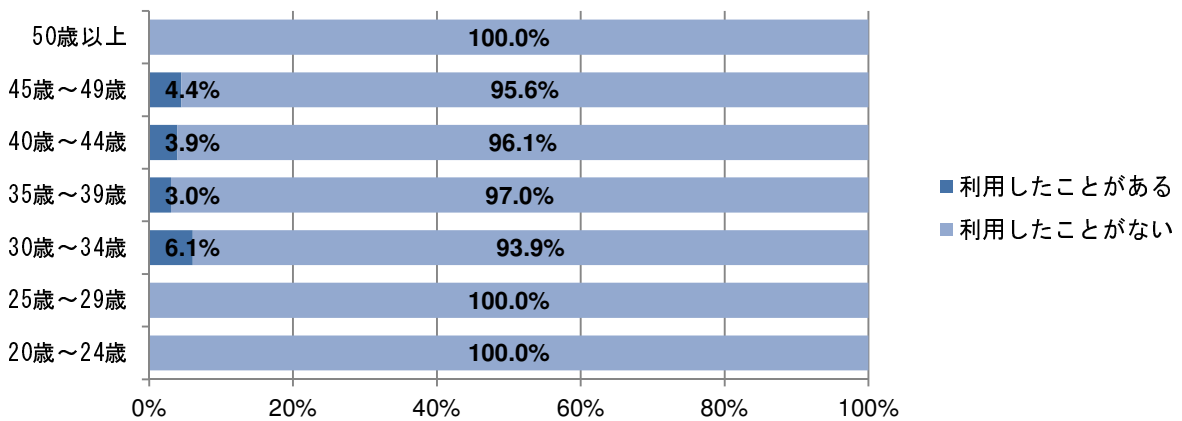


(2) 年齢別の意識

① 男性の年齢別の意識

男性のひろサポサービス協力店のサービス利用について年齢別に見ると、20代はまったく使われていない。

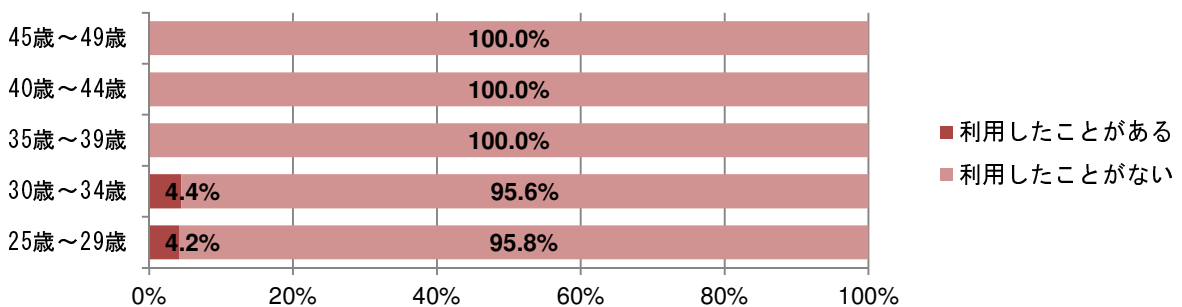
<表 47：男性の年齢別のひろサポサービス協力店のサービス利用>



② 女性の年齢別の意識

女性のひろサポサービス協力店のサービス利用について年齢別に見ると、35歳以上はまったく使われていない。

<表 48：女性の年齢別のひろサポサービス協力店のサービス利用>



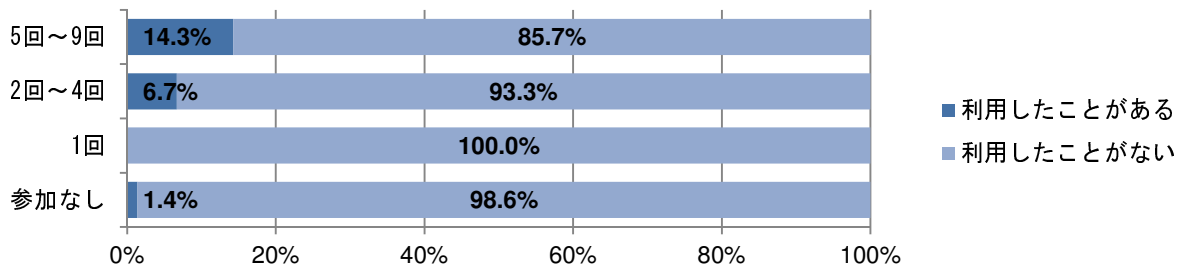
(3) イベント参加回数別の意識

① 男性のイベント参加回数別の意識

男性のひろサポサービス協力店のサービス利用についてイベント参加回数別に見ると、参加回数が

多いほどサービス利用者が増加する。

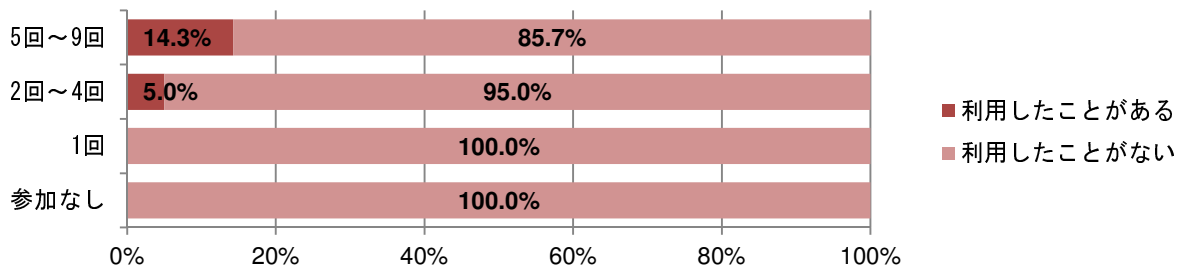
＜表 49：男性のイベント参加回数別のひろサポサービス協力店のサービス利用＞



② 女性のイベント参加回数別の意識

女性のひろサポサービス協力店のサービス利用についてイベント参加回数別に見ると、参加回数が多いほどサービス利用者が増加する。

＜表 50：女性のイベント参加回数別のひろサポサービス協力店のサービス利用＞



(4) 利用したいサービス

① 男性の希望

- ☑ 居酒屋のワンドリンクサービス ☑ 映画チケットの割引サービス
- ☑ 観光地の割引 ☑ 資格試験の学習サポート ☑ 飲食代の割引
- ☑ スーパー銭湯等の割引や招待 ☑ 美術館のチケット割引
- ☑ 娯楽施設の割引、動物園、水族館等の入場料の割引等
- ☑ 来店したひろサポ会員の置き手紙やアルバム ☑ 本屋やラーメン屋

② 女性の希望

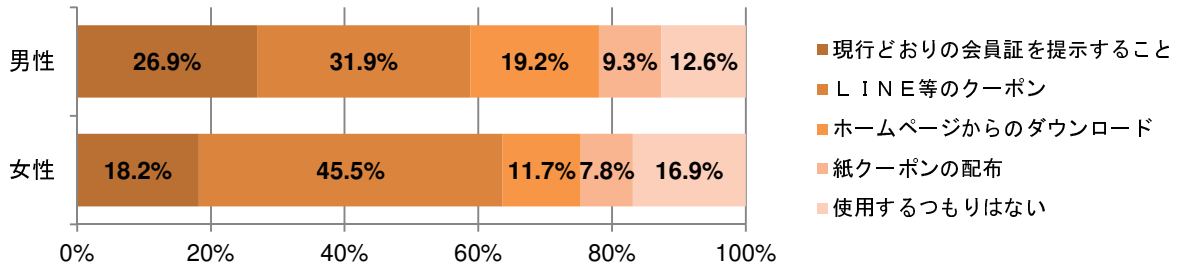
- ☑ 居酒屋のワンドリンクサービス ☑ 本人だけではなく同伴者も可にしてほしい"
- ☑ エステの割引やヘアサロンの割引 ☑ 映画チケットの割引サービス
- ☑ 動物園や美術館の割引 ☑ 婚活旅行 ☑ カフェや飲食店、カラオケ屋の割引サービス"
- ☑ 公園・遊園地・レジャースポットの割引 ☑ デートで使える物

11 ひろサポサービス協力店のサービス利用方法の意識

(1) 男女別の意識

ひろサポサービス協力店のサービス利用方法については、男女とも「LINE等のクーポン」が高く、続いて「現行どおりの会員証を提示すること」であるが、男性の8人に1人、女性の6人に1人は今後とも使用するつもりはない。

<表 51：男女別のひろサポサービス協力店のサービス利用方法>

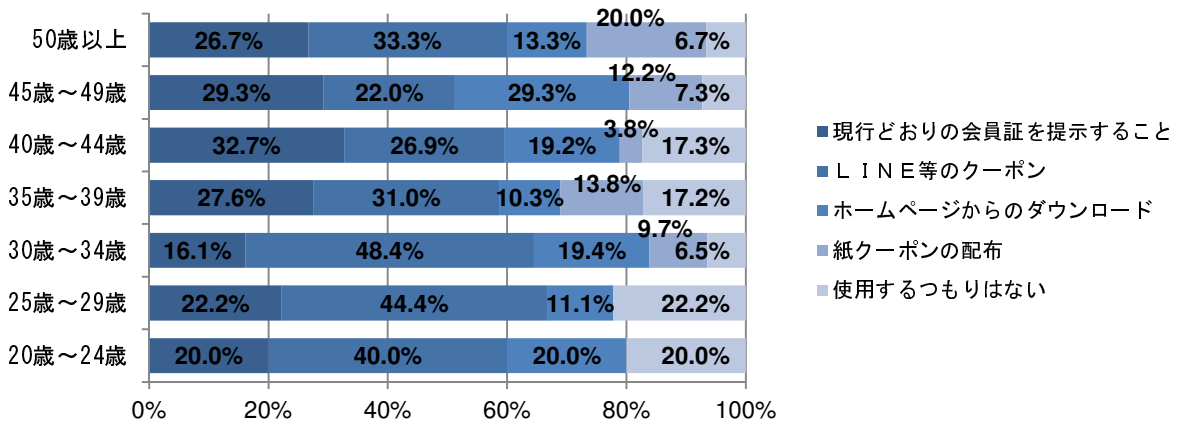


(2) 年齢別の意識

① 男性の年齢別の意識

男性のひろサポサービス協力店のサービス利用方法について年齢別に見ると、年代が若い方が「LINE等でのクーポン」であるのに対して、年齢が上の方は「現行どおりの会員証を提示すること」となっている。

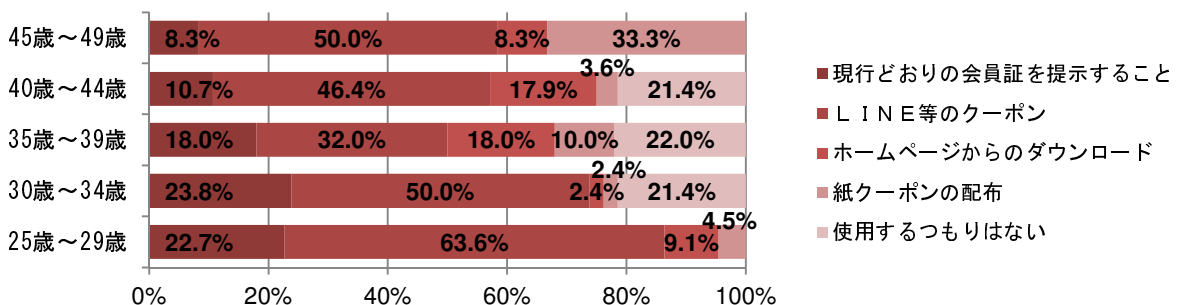
<表 51：男性の年齢別のひろサポサービス協力店のサービス利用方法>



② 女性の年齢別の意識

女性のひろサポサービス協力店のサービス利用方法について年齢別に見ると、年代が若い方が「LINE等でのクーポン」であるのに対して、年齢が上の方は「紙クーポンの配布」が多くなる。男女とも現行の会員証の提示ではなく、LINE等のクーポンを求めている。

<表 52：女性の年齢別のひろサポサービス協力店のサービス利用方法>

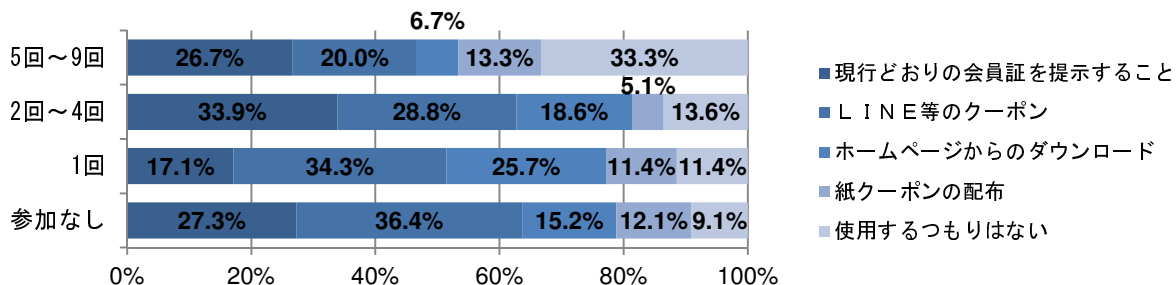


(3) イベント参加回数別の意識

① 男性のイベント参加回数別の意識

男性のひろサポサービス協力店のサービス利用方法についてイベント参加回数別に見ると、参加回数が多いほどサービスを利用するつもりのない方が増加する。

<表 53：男性のイベント参加回数別のひろサポサービス協力店のサービス利用方法>



② 女性のイベント参加回数別の意識

女性のひろサポサービス協力店のサービス利用方法についてイベント参加回数別に見ると、LINE等でのクーポンが多いが、参加回数が多いほど現行どおりの方法を希望する方が多くなる。

<表 54：女性のイベント参加回数別のひろサポサービス協力店のサービス利用方法>

